



ランナーに好評/  
大会オリジナル  
能登マ丼

## ランナーたちの 最高の笑顔



## 1,190人の運営ボランティアが おもてなし



## ランナーたちの背中を押した 心温まる応援



栃木県から参加  
高橋 玲奈さん  
初参加です。コース  
はきつかったのですが、  
太鼓の応援や、  
エイドでの食事がお  
いしく頑張れました。  
特に能登マ丼は格別  
でした。今度は旅行  
で訪れたいです。



## 4年ぶり開催！ 能登和倉万葉の里マラソン2023



能登和倉万葉の里マラソンが4年ぶりに開催され、全国から集まった3298人のランナーが、春の七尾路を走り抜きました。  
今回は親子マラソンを行わず、マラソンと10キロの2種目にするなどコロナ対策を講じて行われました。  
60団体、1190人の市民ボランティアが「おもてなしの心」で大会を支え、沿道からも多くの市民が、手作りの応援グッズなどでエールを送りました。  
マラソンでは、男子の部で地元の一花建さんが優勝。前回大会から2連覇、3度目の栄冠をつかみました。女子の部は、金沢市の舛田果那さんが初優勝しました。  
これまでの牡蠣の炭火焼コーナーに変わり、和倉温泉湯つ足りパークでは「ウエルカムブース」が設けられ、北陸を代表するキッチンカーが並び、ステージでは地元団体が演奏やダンスで来場者をもてなしました。  
青空の下、汗ばむ陽気となりましたが、ランナーたちは波穏やかに輝く七尾湾を眺めながら42.195キロメートルを思う存分堪能していました。

## マラソン男子1位 一花さん3度目、2連覇！



地元の大会なので、優勝にこだわって臨みました。外部コーチを務める田鶴浜スポーツクラブの陸上部（七尾中学校陸上部）の教え子たちが、ボランティアで参加していたので、頑張る姿を見せることできて良かったです。子どもたちの今後のやる気につながればうれしいです。出場権を得た金沢マラソンでも優勝を目指し、石川の大会を盛り上げたいです。

マラソン男子1位  
一花建さん（田鶴浜町）